

4 シックデイと糖尿病薬の関係について

シックデイでは、病気のストレスでインスリンの効きが悪くなって高血糖となることがあります。その反対に、食欲がなく食べる量が少ないにも関わらず、いつも通りの量の糖尿病薬を使うことで低血糖がおきることがあります。このため、薬の量を調節したり、休薬する場合があります。

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス感染症等で自宅療養する場合に備えて、シックデイにおける糖尿病薬の代表的な調節方法について確認しておきましょう。

★食事の量に応じて調節する薬



- ・ 飲み薬の場合：食事量が1/2なら、普段の半分の量を服用。1/3以下は中止。
- ・ インスリンの場合：主治医の指示に従ってください。

理由	主な薬品名	薬効分類
低血糖を起こすことがあるため。	フィアスプ [®] , ルムジェブ [®] ノボラピッド [®] (アスパルト) ヒューマログ [®] (リスプロ) アピドラ [®]	超速効型 インスリン
	ノボリン [®] R	速効型 インスリン
	アマリール [®] (グリメピリド) グリミクロン [®] (グリクラジド) オイグルコン [®] (グリベンクラミド)	インスリン 分泌促進薬 (SU薬)
	スターシス [®] (ナテグリニド) グルファスト [®] (ミチグリニド) シュアポスト [®] (レパグリニド)	インスリン 分泌促進薬 (グリニド薬)

★食事がとれなくても継続する薬



理由	主な薬品名	薬効分類
休薬により血糖値が上がり、糖尿病の合併症(ケトアシドーシス、高血糖高浸透圧症候群等)を起こすことがあるため。	ランタス [®] (グラルギン) トレシーバ [®] レベミル [®]	持効型 インスリン
	ノボリン [®] N	中間型 インスリン

★休薬する薬

理由	主な薬品名	薬効分類
副作用(乳酸アシドーシス)を起こすことがあるため。	メトグルコ [®] (メトホルミン) 《上記薬剤を含む配合薬》 メタクト [®] , エクメット [®] イニシンク [®] , メトアナ [®]	インスリン抵抗性改善薬 (ビグアニド薬)
副作用(脱水)を起こすことがあるため。	スーグラ [®] , カナグル [®] , ルセフィ フォシーガ [®] , デベルザ [®] ジャディアンズ [®] 《上記薬剤を含む配合薬》 カナリア [®] , スージャヌ [®] トラディアンズ [®]	糖排泄促進薬 (SGLT2阻害薬)

患者さん個々の病態によって
対応が変わることがあります。
必ず主治医にも調節方法につ
いて確認しておきましょう

